

未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業

「特色ある幼児教育・保育の推進事業」

PENGUIN NURSERY SCHOOL FUKUSHIMA

プロジェクト名

ふくしまで海外留学！

～0歳からのダイバーシティ教育～

福島市小規模認可保育園

ペンギンナーサリースクールふくしま

【企業理念】

教育で個（ひと）
づくり
人でまちづくり

一、教育を通じて、関わるすべての多様な個の最大化を追求し、共に感じ、共に育つ教育環境を追求します。

一、共に育ち、共に創る地域社会に貢献します。

一、共に創り、共に尊ぶ未来企業を創造します。



福島の保育園の良さを日本語・英語を通じて、園周辺の地域住民の方々に発信し、交流を深めていきます。

☆保育理念・方針☆

【保育理念】

子ども一人ひとりの「個のちから」をのばす保育園

【保育・教育目標】

- ①健康で元気な明るい子ども
- ②素直でやさしく思いやりのある子ども
- ③愛情にあふれ、感受性と好奇心豊かな子ども
- ④自分で考えて行動し、のびのびと表現できる子ども

【保育方針】

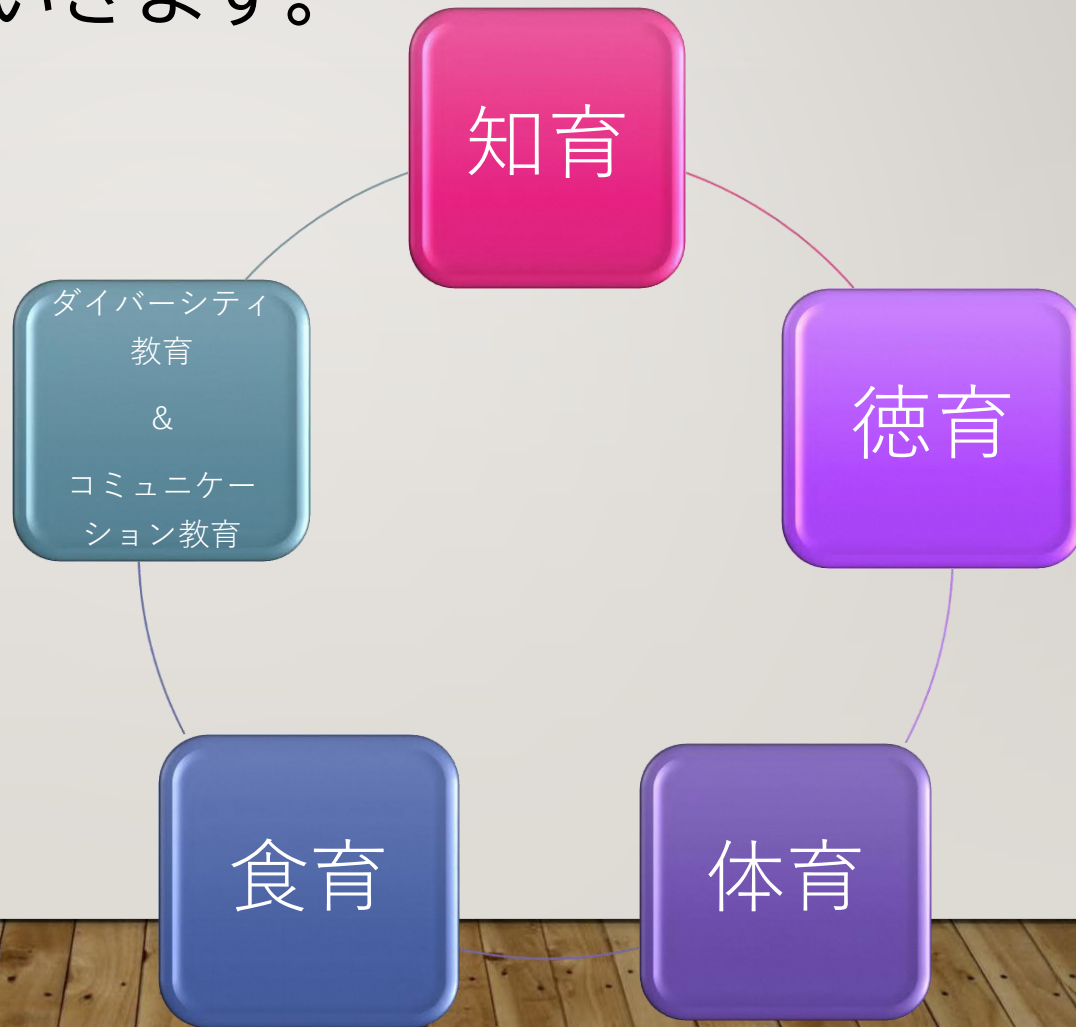
- 一、愛情あふれる家庭的な温かい環境の中で、子どもが心身ともに健康で過ごせるようにサポートします。
- 一、安心・安全な保育環境の中で、子ども一人ひとりの「個」に応じた養護と教育を提供します。
- 一、多様な人と人(子ども、保護者、地域)とで創る「ダイバーシティ保育園(地域全員参画型保育園)」を目指します。



ペンギンエデュケア プログラム

個のチカラを伸ばす5つ
の
オリジナルプログラム

『子どもは「遊び」の中で育つ』をモットーにし、遊びを通して一人ひとりの子どものために、子ども自身が持っているチカラを最大限に伸ばしていきます。



～子どもたちの未来へ向けて～ ふくしまだからこそ できること

2011年3月11日 東日本大震災が発生

原子力発電所の事故により世界中が福島に注目、『世界のフクシマ』となりました。



世界中の人々が『フクシマ』を知り、これからの未来の福島の
発展を世界に発信していくために、

グローバルコミュニケーションが不可欠

(自国の風習や文化にとらわれずに、様々な人の話や意見を聞いてみよう・そして
自分の考えを伝えていこう、という柔軟なものの捉え方)

園の保育方針のひとつである

ダイバーシティ保育園 (多様性)

の取り組みが必要

グローバル教育を視野に入れた保育

○2018年、保育指針が改定され、乳幼児の保育内容の記載が充実しました。また、2020年より、小学校3年生より『外国語授業』が導入され、5年生から必須科目となりました。

大学での英語4技能『聞く』『話す』『読む』『書く』について、0歳～の外国語による情操教育を通じて、“聞く”“話す”の分野において、国際感覚を身に付け、ダイバーシティ→”多様性”を受け入れ、将来、広い視野で多方面へ羽ばたいてほしいと願っています。

また、5領域+幼児期までに育ってほしい姿（10の姿）につなげていきます。

多様性とは？・・・

現代の人間社会の中には、人によって様々な物事の捉え方、考え方（パラダイム）があります。様々な国の言葉や文化の違い、生活慣習、食の文化など、外国語に触れることにより、これからの未来、子どもたちが広い視野で世界のこれらを柔軟に受け入れ、コミュニケーションがとれるようになっていく橋渡しができればと考えています。また、東京オリンピックを目前に控え、世界には様々な言葉があることを幼児期である今、肌で感じ取り、多様性を受け入れることの大切さ、“ともに豊かに生きる姿勢”を外国の講師と関わりを持つことで興味・関心に繋げていきます。



グローバル教育を
視野に入れる保育

**ダイバーシティ（多様性）…海外の言葉・文化・
生活慣習・食の違いなどに、興味・関心を☆**

20年後の未来を切り拓く **グローバルリーダー**
になってほしいという願い

“**外国語**”を使った活動を取り入れ、自分の気持ちを周囲に伝えるツールを広げることに
より、子どもの笑顔を引き出します

子どもが笑顔
だと・・・

こどもを安心して園に預けることができる！

保護者の方の笑顔も増える！

～プロジェクト（実践）～

福島で海外留学！！



個性あふれる ペンギンナーサリースクールふくしまの子どもたち！

- 子どもが考えるチカラ
遊びや周囲の人との関わり合いの中で、子どもから溢れ出す『なぜ？』『どうして？』という素直な気持ちを大切にします。
- 母国語（日本語）と外国語に、日常的に親しむことで、海外との文化交流・言語や表現力・グローバル社会への興味、関心へとつなげる。
- 子どもの表現力を大切にします
外国語や外国人講師とのふれあいの中で感じたことを自由に表現しよう！
外国語での歌・手遊び・リズム遊び等を通して、全身でのびのびと外国語を楽しもう！
- SNS等を活用し、園での取り組みや外国語講師と触れ合い、多様性を育んでいく様子を世の中へと発信し、福島の子どもたちが安全な環境の中で成長していく姿を伝えていく。
- 自然環境の中で外国語に親しむ
Englishレッスンとしてだけではなく外国語講師・保育者と一緒に、お散歩や園庭で育てている野菜の観察・食育など、『いつもの日常』を共に過ごす。



ペンギンエデュケア→ケア（保育）

エデュケーション（教育）

保育と教育の一体化

Thank
you!

メルシー
Merci

グラシアス
Gracias

世界の
“ありがとう”

マハロ
Mahalo

グラッ
ツィエ
Grazie

友だちや保育者、外国語講師など、親しみのある人に囲まれながら、子どもの適応能力を信じ、慣れ親しんだ場所で安心して外国語に親しんでいきます。

外国語に触れることにより、母国語である日本語の言葉の素晴らしさ・美しさを知ってほしい、そして子どもたちが生きていく上で、私たちが大切にしていってほしいと願っていることがあります。それは、本園の取り組みとして、『おはよう』『こんにちは』『ありがとう』などの、挨拶を大切にしていくということです。

世界中どこへ行っても、出逢いの始まりのは、挨拶を交わすことから始まります。礼儀を大事にする“日本人の心”“謙虚な心”を伝えながら、世界の様々な国の言葉の挨拶を保育の中に取り入れ、挨拶を交わす気持ちよさを五感・肌で感じほしいと考えています。また、絵本や歌をとおして、地元福島ならではの、方言や温かみのある言葉も大事にしなが、外国の文化をも柔軟に受け入れ、世界を身近に感じられる環境を作っていきます。

5領域をふまえ 幼児期の心身の発達の基盤をつくる

健康...外国人講師や保育者のサポートで心身共に健康に、日常の中で他国の挨拶や言葉を、気持ち良く交わしながら、安心・安全な生活を作り出すチカラを養う。

人間関係...保育者やクラスメイト、外国人講師と触れ合い、様々な個性や自分以外の”個“を認め合い、共に生活する喜びや心地良さを知らせていく。

環境...外国人講師との関わりを楽しみにし、興味・関心を持ったwordや歌、リズム遊びは日常の保育の活動に積極的に取り入れ、探求心をかきたてていく。

言葉...外国人との触れ合いで身についた聞くチカラ（英語耳）、言語や表現力で、経験や思いを周囲に伝え知らせたり、相手の言葉や気持ちに耳を傾けるチカラを身に付ける。

表現...外国語を通じて感じたことを、言葉や全身を使い喜んで周囲に伝えられるようになり、卒園後には他園においても、自分の感じたことや考えを言葉で表現したり、小学校進学に向け、自分で判断し考える力・行動できる力を身に付け、将来グローバル社会を生き

抜いていくために、豊かな感性や表現力を引き出す。これらを意識しながら、日々の目標や活動のカリキュラムを工夫し、卒園から就学まで、子どもたちの毎日がより充実したものになるよう導いていきます。

そして実践での成果として・・・

将来、日本の社会・福島未来を支える人材がペンギンから生まれることを願っています☆

10の姿につなげていく日常生活

本園で0～2歳までを過ごす生活において、身近な環境に主体的に関わり、自分のやってみたいことをのびのびと楽しむ中で、心と身体を十分に働かせ、幼児期から考えるチカラや、工夫したり**challenge**することで達成感を味わえる環境を目指しています。

○就学までに、信頼できる保育士や外国人講師に見守られ、最後までやり遂げる達成感を経験させ、失敗しても諦めない心を育てます。

○友だちとの関わり合いの中で、相手にも思いがあることや協力すること、遊びや生活のルールを守ることが日本語や外国語を使って表現することで、互いの思いを伝え合うことを学んでいきます。

○外国語を学ぶだけでなく、外国のカルチャーや考え方、食の違いなど、様々なことに興味・好奇心を抱き、多様性を自然に受け入れられるような、おおらかな視野の広さを育みます。

○保育の中で外国語を用いて、製作活動（色・形）や戸外活動（自然・生き物）、リズム遊び・体操（音・言語・動き）を楽しみ、アイデアやイメージを豊かに表わせる感性を養います。

これから実践したいこと（園生活～就学前までの取り組み）

○地域との関わり

- ・子どもたちを安心・安全を第一に、私たちに何ができるのか。コロナ禍の影響で出来ることは限られてしまいましたが、園周辺地域の方との外国語での挨拶や、ふれあいを中心に、福島の特産物である桃（**peach**）、りんご（**apple**）などおいしい果物を結びつけた共同製作活動や、クッキング、外国語を用いたワークショップを企画していけたら...と考えています。
- ・周辺地域には、小さな子どもからお年寄りの方、外国の方、様々な個性を持った方が生活をしておられます。園生活や、お散歩など戸外活動をする中で、多様性に触れ、実際に関わりあいを持っていけるような環境づくりを目指します。

○園周辺の園との交流

- ・外国語交流を取り入れている園周辺の幼稚園・保育所と連携を図り、家庭や地域社会と一緒に楽しめるイベントを企画し、子どもたち同士の交流を深めたり、それぞれの園の職員同士で情報交換や交流をさせていただきたいと考えています。

○外国語をとおして世界を柔軟に受け入れる

・様々な多様性の中で育っていく子どもたち。クラスに外国のお友だちがいることは、当たり前の時代になってきました。早期から始めた外国語学習は長く続けることで土台がしっかりしたものとなってきます。

長い時間かけ学ぶことで使いこなせる語彙の量が多くなります。自意識が強くなる9歳を過ぎる前に慣れ親しんでいくことで発音に自信がないことや、恥ずかしさなどを取り払い、素直に表現することができるようになることを目指します。

・本園を満了前から周辺の保育園、幼稚園、子ども園などと日頃から親睦を深めさせていただくことで、子どもたちがスムーズに他園へ巣立ち、本園で学んだ多様性への寛容力、語学力や表現力、コミュニケーション能力を生かし、生活や遊びの中で保育士や友だちと心を通わせ、小学校就学まで日々を、自分らしく心も身体ものびやかに大きくなっていけるよう地域ぐるみでサポートをし、長いスパンで子どもたちの育ちを見守っていきたいと考えています。

○就学後も子どもたちを見守る取り組み

・小規模保育園であることを生かし、就学後も卒園児や、卒園児の保護者様を園のイベントや行事に招待をし、在園児や外国語講師との交流の場を設け、小学校でのびのびと外国語に親しめているか、職員一同、子どもの成長を分かち合っていきたいと思っています。

○取り組みを継続する

・本事業計画の3年後以降も、それまで職員一同や在園児と共に培ってきた語学力やスキル、この取り組みをしてきた外国語や講師との交流を生かして、園生活をしていきます。

☆様々な国の言葉を使った挨拶（おはよう・ありがとう）を生活の中で交わす

☆設定保育の中に英語などの外国語だけを使って生活する時間帯を設ける

☆英語の歌を日頃から保育に取り入れる（BGMとして流して英語耳を養う等）

長期にわたって外国語を取り入れた生活活動を継続していきたいと考えています。

遊びの中で日本語＋英語で自己表現できる未来の国際人を育みます

教育としてにとどまらず、コミュニケーション手段として
社会性を養い、一人ひとりの感性を大切に☆☆☆



保育・教育のふくしまへ！！